

**ソニー、あらゆる子どもたちの好奇心を育む教育プログラム
「CurioStep with Sony」を開始**
—リアルに加え、オンラインでのワークショップやコンテンツ提供も実施—

ソニー株式会社（以下、ソニー）は、クリエイティビティとテクノロジーを体験する機会の提供を通して、あらゆる子どもたちの好奇心を高め、創造性や問題解決力、多様性を受け入れる力の向上をサポートする教育プログラム「CurioStep with Sony（キュリオステップ）」を開始します。リアルに加え、オンラインでのワークショップ実施やコンテンツ提供により、新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちの学習環境が変わる中、持続可能な教育にも貢献します。



「CurioStep with Sony」ウェブサイト：<https://www.sony.co.jp/curiostep>

テクノロジーが急速に進化する中、体験を通して創造性を育む「STEAM^{※1}」教育への注目度が世界中で高まっており、日本でも2020年度に小学校においてプログラミングが必修になるなど、取り組みが推進されています。こうした外部環境の変化も踏まえ、2009年より10年以上にわたり展開してきた科学教育支援活動「ソニー・サイエンスプログラム（以下、SSP）」を、「CurioStep with Sony」としてリニューアルします。これまでアジアを中心に累計24,000人以上の子どもたちが参加してきたワークショップの開催や、科学館の運営などを通して教育支援に取り組んできた実績やノウハウを生かし、さらに進化したプログラムを行います。

「CurioStep with Sony」では、ソニーグループの製品やコンテンツ、技術などを活用し、これまでの科学教育に加え、プログラミング、エンタテインメント、アートなど「STEAM」教育へ領域を広げたワークショップを実施します。クリエイティビティとテクノロジーを体験する機会の提供を通して、一人一人の好奇心を引き出し広げることをサポートしていきます。プログラムを通じて、子どもたちの好奇心がやがて行動力を伴い、将来の夢や社会を動かすチカラにつながっていくことを目指します。また、SSPで実施していたグループの多様な人材を活かし、社員がボランティアで講師やスタッフを務めるワークショップも継続して行うことで、子どもたちが多様な価値観に触れる機会を届けていきます。

さらに、国内ではリアルの場に加え、オンラインでのワークショップ実施やコンテンツ提供も行います。こうした取り組みを通じて、新型コロナウイルス感染症により学習の機会を制限されている子どもたちや、これまで機会が十分ではなかった地域の子どもたちにもワークショップを届けるなど、持続可能な教育にも寄与します。

本プログラムは、今年度は日本を中心に実施し、今後海外拠点を含むグローバルでの展開も予定しています。

「CurioStep with Sony」のワークショップ第1弾として、8月に実施する「おうち de チャレンジ！ MESH™※2 発明ワークショップ オンライン」（実施期間：2020年8月15日または16日から2週間）の参加者の募集を本日より開始します。ワークショップの内容や募集概要は「CurioStep with Sony」のウェブサイト（<https://www.sony.co.jp/curiostep>）をご覧ください。

さらに、9月には「MESH™ × toio™※3 オンラインプログラム」の実施も予定しています。IoTブロック「MESH」と株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントのロボット玩具「toio（トイオ）」を使い様々なセンサーとロボットの動きを組み合わせることで、家族や友人と楽しめるゲームづくりに子どもたちが挑戦します。

ソニーは「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」という Purpose（存在意義）のもと、社会にとって意義のある存在であり続けることを目指しています。今後も、長年にわたり「For the Next Generation」をスローガンとしてグループ全体で取り組んできた次世代を担う子どもたちへの教育の機会提供をさらに強化していきます。

※1：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の略

※2：センサーやスイッチなどの機能と身近なものを組み合わせ、使う人それぞれのアイデアをプログラミングで実現できる IoT ブロックです。詳しくはこちら（<https://meshprj.com/jp/>）をご覧ください。

※3：子どもの創意工夫を引き出すロボット玩具です。詳しくはこちら（<https://toio.io/>）をご覧ください。